

# 平成 25 年度の事業報告書

平成 25 年 4 月 1 日から 平成 26 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人国際心血管薬物療法学会日本部会

## 1 事業の成果

特定非営利活動法人 国際心血管薬物療法学会日本部会は、心臓血管系疾患の薬物療法の研究に関する事業を推進し、我が国における心臓血管系疾患の薬物療法の進歩普及に貢献し、国民の健康増進及び医療の発展に寄与することを目的とする。この目的達成のため、初年度の平成 24 年度は特定非営利活動法人国際心血管薬物療法学会日本部会の協力体制を確立したが、2 年目の平成 25 年度は、活動を順調に軌道に乗せて発展させることを主眼とした。具体的にはホームページの充実、市民公開講座の開催により一般市民に心臓血管疾患の現状と薬物療法の大切さを啓発する活動を行った。また個人会員および賛助会員の募集を行い、会誌「心血管薬物療法」第二巻の発刊により、医療従事者への情報発信を行った。さらに会員の中から当法人の活動に前向きに貢献する評議員を専任し、平成 26 年度における活動の準備も始めた。また医師の適正な薬物療法の教育研修のため、国際心血管薬物療法学会に参加発表し討論すると共に、国内で研修会・研究会を開催した。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

| 事業名<br>(定款に記載した<br>事業)                    | 具体的な事業内容   | (A) 当該事業の<br>実施日時<br>(B) 当該事業の<br>実施場所<br>(C) 従事者の<br>人数  | (D) 受益対象者の<br>範囲<br>(E) 人数                                      |
|---|--|---|---|
| 心臓血管系疾患の薬物療法に関する学術集会、研究会、教育研修会及び市民公開講座の開催 | 患者さん及び一般市民への普及活動の一環として第三回及び第五回 市民公開講座を開催し、第四回として家族の睡眠講座を後援した。<br>さらに適正な薬物療法に関する医師・薬剤師への教育研修のため、ローマで開催された国際心血管薬物療法学会に参加発表し討論を行い、国内での研究会を開催した。 | (A) 第三回市民公開講座<br>：平成 25 年 6 月 9 日<br>第四回市民公開講座<br>：平成 25 年 9 月 8 日<br>第五回市民公開講座<br>：平成 26 年 1 月 4 日<br>(B) 第三回：灘尾ホール<br>（東京）<br>第四回：アバンセ<br>（佐賀）<br>第五回：太田区ホール<br>（東京）<br>(C) 第三回：20 人<br>第四回：5 人<br>第五回：15 人 | (D) 一般市民及び<br>医師・薬剤師<br>(E) 第三回：322 名<br>第四回：150 名<br>第五回：307 名 |

|   |  |  |   |
|---|--|--|---|
| 心臓血管系疾患の薬物療法に関する情報提供及び情報伝達の為のホームページ運営事業 | 心血管薬物療法に関する総説や、国内外臨床試験結果、基礎及び臨床研究論文、薬品安全情報などの紹介を行うため、会誌「心血管薬物療法」創刊号を発行、会員及び学術・医療関係者に配布を開始した。   | (A) 平成 26 年 3 月<br>(B) 事務局<br>(C) 11 名 | (D) 心臓血管系疾患の薬物療法に関わる医師・薬剤師など学術・医療関係者<br>(E) 1000 名      |
|   | ホームページにて一般市民に心臓血管系疾患の薬物療法に関する情報を発信すると共に、国内外臨床試験結果、基礎及び臨床研究論文、薬品安全情報などの紹介し、個人会員および賛助会員を募集を開始した。 | (A) 通年<br>(B) ホームページ<br>(C) 11 名       | (D) 一般市民及び心臓血管系疾患の薬物療法に関わる医師・薬剤師など学術・医療関係者<br>(E) 不特定多数 |

(2) その他の事業

| 事業名<br>(定款に記載した事業) | 具体的な事業内容 | (A) 当該事業の実施日時<br>(B) 当該事業の実施場所<br>(C) 従事者の人数 |
|--------------------|----------|--|
|                    | 実施しなかった  |  |

(備考)

- 2 は、(1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載する。
- 2(2)には、定款上「その他の事業」に関する事項を定めているものの、当該事業年度にその他の事業を実施しなかった場合、「実施しなかった」と記載する。